

2. 中国雲南省における水稲新品種「合系34号」及び「合系35号」

〔要約〕中国雲南省の標高1800~2000m地帯に適する多収・良質の水稲新品種「合系34号」及び「合系35号」を育成した。

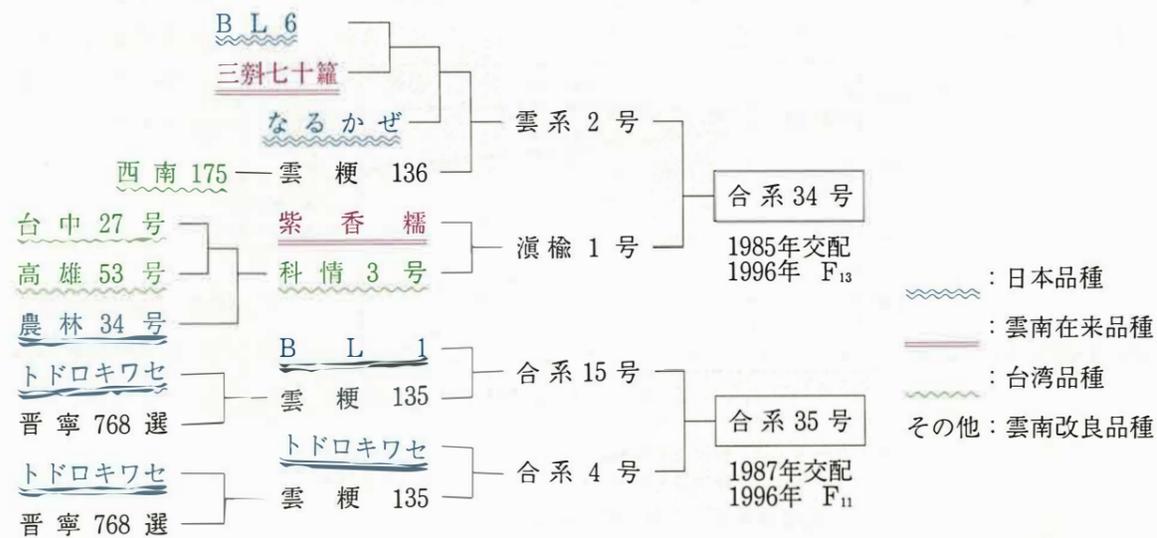
国際農林水産業研究センター 生物資源部		連絡先	0298 (38) 6305	
中国雲南省農業科学院				
部会名	国際農業	専門	育種	対象
			稲類	分類
				行政

〔背景・ねらい〕

中国雲南省のジャポニカ水稲栽培地帯では、冷害やいもち病が多発し、米生産を不安定にしている。そこで雲南省の豊富な稲遺伝資源と日本の多収良質品種とを利用して新品種育成を図り、米生産の安定に資することを目的とした。

〔成果の内容・特徴〕

- 「合系34号」と「合系35号」は、1993~1994年の雲南省中北部区域試験（奨励品種決定試験）において高い収量性を示した。また、農家の実際栽培でもその優秀性が証明され、雲南省政府の登録品種として近く認定される。
- 両品種は下記の系譜を持ち、日中稲品種の長所を集積して育成された雲南省中北部地域に適する水稲品種である。これまでの共同研究育成品種と比較すると、「合系34号」は多収性とともにより好な玄米品質を備えていること、「合系35号」は非常に多収であることにそれぞれ特徴がある。主要な農業特性は別表に示した。



〔成果の活用面・留意点〕

両品種は雲南省内及び隣接する四川省、湖南省等の標高1800~2000m地帯に適する。「合系35号」はいもち病抵抗性遺伝子 Pi-i, 「合系34号」は末同定のいもち病真性抵抗性遺伝子を保有しているので抵抗性の崩壊に注意する必要がある。

〔具体的データ〕

合系34号及び合系35号の主要特性

系統名: 合系34号	組合せ: 雲系2号/滇榆1号		
特性: 長所 1. 多収	2. 良質		
短所 1. 出穂揃い			
系統名: 合系35号	組合せ: 合系15号/合系4号		
特性: 長所 1. 多収			
短所 1. いもち病抵抗性			
特性	合系34号	合系35号	雲梗9号 (比較)
熟期	中生	中生	中生
草型	偏穂重型	穂重型	穂重型
出穂期 (月・日)	8.04	8.01	8.03
成熟期 (月・日)	9.19	9.12	9.16
稈長 (cm)	69.2	76.1	99.1
穂長 (cm)	18.3	17.3	15.8
穂数 (本/m ²)	423	374	386
芒の多少・長短	無	無	無
ふ先色	黄白	褐	黄白
脱粒性	難	難	難
耐倒伏性	や強	や強	弱
耐冷性	や強	や強	強
いもち病抵抗性遺伝子型*	—	i-i	+
葉いもち	—	中	やや強
穂いもち	—	中	強
初重 (kg/a)	79.5	86.1	71.1
同上標準比 (%)	112	121	(100)
初千粒重 (g)	24.8	25.9	22.9
玄米外観品質	上下	中中	中下
炊飯米食味	中中	中中	下中
調査地	雲南省農業科学院 (昆明市桃園村, 標高1916m)		
調査年次	1993~1994年 (雲南省中北部区域試験)		

* 合系34号は未知の真性抵抗性遺伝子を保有している。遺伝子型「+」の雲梗9号は既知の抵抗性遺伝子を保有していない。

〔その他〕

研究課題名: 稲遺伝資源の評価と利用技術の開発

予算区分: 国際農業プロ [稲遺伝資源]・経常

研究期間: 昭和60~平成8年度

研究担当者: (日本側) 伊勢一男・工藤悟・春原嘉弘・丹野久・富田桂・藤田佳克・安部信行・藤村泰樹・井上正勝・岩野正敬・松永和久・堀末登・森谷国男

(雲南省農科院) 王永華・蔣志農・王壞義・何雲昆・熊建華・李家瑞・孫有泉・李成雲・

周玉萍・孔平・陳国新・肖卿・王兵・沈銳・世栄・劉吉新・趙国珍・楊曉洪・鄭鳳萍・

楊勤忠・戴陸園・葉昌栄・廖新華・張建華・張堯忠・徐寧生・趙志堅

発表論文等: 伊勢一男 (1995), 中国雲南省における稲遺伝資源の日中共同研究, 食糧振興54: 4-10.